

病で親しい人を亡くした子どもの気持ちの変化と求められる支援について

1.研究課題の概要

○用語の定義

- ・親しい人：親や兄弟、親友など情緒的に深く関わっている人物
- ・他者：親や養育者、友達など

○研究背景・目的

親しい人との死別は人生の中で大きなイベントであり、精神的な苦痛を伴うものである。特に、幼児期・学童期・思春期の子どもは愛着形成、社会性が発達する時期であり、親しい人の喪失という体験による精神的影響は大きい。そのため、親しい人との死別後には、看護師がグリーフケアをすることで悲嘆の表出を促し、親しい人との死別を経験した本人が自身の気持ちと向き合えるよう支援する必要がある。私は、思春期の頃に母親との死別を経験しており、精神的苦痛を体験した。しかし当時は、看護師からの支援は無かった。現状として、看護師のグリーフケアの経験不足、家族が子どもを保護する傾向、子どもが病院にくる機会がなく直接支援することができないということがわかっている。また、死別を経験した子どもは看護師以外の人物（他者）からのサポートを多く受けていることがわかっている。しかし、そのような経験をした子どもの気持ちが、他者からのサポートによってどのように変化するのかについては明らかになっておらず、それらの関係性について追及する必要があると考えた。

研究目的は、病で親しい人を亡くした子どもの気持ちの変化と、他者との関わりとの関係性を明らかにし、より良い看護支援を考察するためである。

2.研究方法

・対象

名古屋大学医学部保健学科看護学専攻学生 1～4 年生で、子どもの頃に親しい人を亡くした経験をもつ学生を対象とする。

・調査内容

①回答者の属性、②3 歳～18 歳までの死別の経験、③他者との関り、④他者との関りによる気持ちの変化、⑤当時してほしかった看護師からの支援についての無記名自記式アンケート。

・手順

名古屋大学医学部保健学科看護学専攻の 1～4 年生に、研究説明書、質問紙、提出用の封筒を講義終了時に配布し、口頭・書面にて調査を依頼する。書類の配布と共に同講義室出入口に回収用ボックスを設置する。回答を終えたアンケート用紙は、封筒に入れて回収用ボックスへ投函することを依頼する。その場での提出が不可能な方がいる場合を想定して期限を設け、医学部保健学科南館 220 号室（奈良間研究室）出入口の別の回収用ボックスに投函することを依頼する。

・分析方法

記述内容からカテゴリー別に分類し、項目内の関係について分析を行う。

3.インフォームドコンセント

本研究への参加は自由意志によるものであること、無記名自記式質問紙の内容について回答したくない項目については回答をする必要はないこと、本調査へ協力しないことで対象者に不利益が生じることはないこと、アンケートの回収方法、アンケート回収後は無記名であるため回答内容の撤回はできないこと、調査への同意はアンケートへ回答をし、提出することをもって同意とすることを書面と口頭にて説明する。

4.研究に参加した場合に予測される危険・不利益

アンケートの回答による 20~30 分程度の時間的拘束や、アンケートへの回答により過去の辛い体験があるということが顕著になってしまうこと、過去の辛い体験の想起により精神的苦痛が生じることが予測されるため、回答の強制はしない。また、質問内容の言葉の表現に配慮する。アンケートへの協力は自由意思によるものであることを口頭、書面にて十分に説明する。

5.倫理的配慮

本調査は名古屋大学生命倫理審査委員会の承認を得て実施する。本調査への参加は自由意思によるものとする。本調査へ協力しないことで対象者に不利益が生じることはない。アンケート結果は本研究にのみ利用し、個人が特定されないよう処理をする。アンケートへの回収は、協力者のプライバシーに配慮し、アンケート回答直後に講義室で回収する方法と、医学部保健学科南館 220 号室（奈良間研究室）の出入口に回収ボックスを設置して回収する方法をとる。アンケート回収後は、無記名のため同意の撤回はできず、アンケートの回答・提出をもって本調査への参加の同意とする。アンケートは無記名で行い、個人が特定されないよう配慮する。回収されたアンケート用紙および研究利用のためにデジタル化されたデータについては、平成 31 年 3 月まで医学部保健学科南館 250 号室（奈良間研究室）にて施錠をして保管をする。研究終了後、回答用紙はシュレッダーで裁断し、デジタル化されたデータは記録媒体の初期化によって速やかに破棄する。研究対象者の中に未成年者が含まれることを考慮し、本研究の概要についてホームページにて情報公開をし、親権者または未成年者後見人が本研究への参加を拒否できるよう配慮する。以上について口頭、書面にて十分に説明をする。

6.本研究に関する問い合わせ

研究責任者：名古屋大学医学部保健学科看護学専攻 健康発達看護学講座

教授 奈良間 美保

〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL/FAX 052-719-1566

研究担当者：名古屋大学医学部保健学科看護学専攻

4年 大野 亘平